瀬戸交流館　＆
瀬戸コミュニティセンターだより

No. 334　　2026年9月　7日発行

福山市瀬戸交流館　TEL 951-1003
瀬戸コミュニティセンター　TEL 951-1809

テーマ『人権を大切にする
たしかな生き方を求めて』
～助けあい・支えあいのまちづくり～

年に一回、各自治会単位でお互いの考えを出し合って学びあう、「瀬戸学区地域別住民学習会」が、7月13日から、8月7日までの間で、全ての自治会で終えることができました。各自治会（町内会）役員の皆さまには、学習会の呼びかけや司会、話題提供などの会場の雰囲気作りにご尽力いただき、大変お世話になりました。厚くお礼申しあげます。

今年度は、認知症の人を含むすべての人が、相互に人格と個性を尊重しつつ「ともに支えあいながら生きる」社会の実現をめざして作成された「母のさがしもの　～たとえ母が私を忘れても～　」を視聴して、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域との交流の重要性や、本人の気持ちに寄り添うことの大切さについて話し合うことができました。

話し合いでは「実際に介護をしたり、周りに認知症の人もいないので、参考となるDVDだった」「包括支援センターに相談したり、交流館やコミュニティセンターに相談すればいいことが分かってよかった」という意見や「自分も実際に介護をしてきたが、本当に大変だった」など、体験からの感想や意見が多く出ました。

このことは、１９７９年から全市に先駆けて４５年以上続いている地域別住民学習会において、「人権」という視点で話し合いが積み重ねられ、人を大切にしたまちづくり意識の高揚と希望の持てる瀬戸のまちづくりの実践へと着実に根付いていると思います。一人ひとりの人権が尊重され「いつまでも住み続けたい。住んでよかった」と思えるまちづくりを推進し、魅力ある学びの場となるよう努めていきたいと思います。

瀬戸地域民主化推進協議会研究部会

済美校区人権問題講演会

障がい者と共に
生きる社会のために
私たちにできること



講師
横藤田　誠　さん

― 講師の紹介 ―
福山市芦田町生まれ。
生後７か月のときに脊髄性小児麻痺（ポリオ）を発症。「不利な立場にある人々の人権」をテーマに研究をされています。
2022年まで広島大学法学部で憲法を担当。現在、広島大学名誉教授。
また、基本的人権の尊重を謳った日本国憲法の精神および、障害者差別解消法の理解を求め、講演活動などをされています。

とき　10月3日（土）14：00～

ところ　瀬戸コミュニティセンター

主　催：瀬戸地域民主化推進協議会/津之郷学区人権学習推進協議会/赤坂学区人権学習推進協議会
瀬戸交流館/津之郷交流館/赤坂交流館/瀬戸コミュニティセンター/南部地域振興課
問合せ：南部地域振興課　☎084-980-7713/Fax 084-987-2382

移動図書館のぞみ号だより★

◎ 今後の移動図書館日程のお知らせ！

- 瀬戸交流館　10：20～11：20
  10月　1日（木）・11月　2日（月）
- すみれ光寿園　10：00～10：40
  10月　7日（水）・11月　9日（月）



― 認め合おう　みんな違って　あたりまえ ―

防災の日

9月1日は「防災の日」です。

1923年9月1日に、関東大震災が起きました。この地震によって、家が壊れ、多くの人が犠牲になりました。

その悲しみを忘れないこと、そして自然災害に備えることの大切さを考える日です。

福田村事件

関東大震災直後「朝鮮人が井戸に毒薬を投げた」などのデマが広がりました。

震災で人々が混乱しているなか、こうしたデマが不安をあおり、各地で住民による自警団が組織され、多くの朝鮮人や中国人が虐殺される事件が起こりました。

その中でも、千葉県福田村で、薬の行商人15人が自警団に襲われ、幼児や妊婦を含む9人が惨殺された事件が「福田村事件」です。

これは、日本が植民地支配していた朝鮮人に対する偏見、差別意識がデマの背景にあります。また、薬の行商人たちは被差別部落の人でした。行商を生業にしていた被差別部落の人たちに対しての、仕事への軽視、偏見や差別意識が原因で起きた事件です。

今年7月に起きた熊本地震でも、災害時の混乱している中で、インターネットを使用した嘘の動画で極度の不安をあおるという許されないことも起きています。

誤った情報や差別意識は、人権を侵害するだけでなく、人の命をも奪ってしまいます。

私たちは日々多くの情報に囲まれています。その情報は「正しいのか？」「自分はどういう考えの持ち主なのか？」という疑問をもち、交流館の講座や講演に参加して多くの人と意見を交わしたり、家族や友人と話をする中で「人権が尊重される社会とはどういう社会か」を一緒に考えてみませんか？



「啓太新聞」作品展が、8月1日から12日まで開催されました。

期間中、啓太くんに関わった教職員や同級生、多くの仲間たちなど、110人の方が来てくださいました。この期間中には、熊本地震復興支援カンパも行われ、中国新聞社会事業団を通し、20,142円が寄付されました。

作品展は終わりましたが、これまでの新聞を、瀬戸コミュニティセンターの階段掲示板に展示をしていますので、ぜひ見に来てください。

《講座のお知らせ》社会教育活動事業

瀬戸学縁チャレンジ講座

福山市消防団女性分団による寸劇を開催します！

福山市消防団女性分団の皆さんをお迎えし、身近な出来事を題材にした寸劇を通して、日ごろからどんな備えが大切なのかを分かりやすく学びます。

笑って、楽しく、そして「**いざ**」というときに役立つ知識を一緒に身につけましょう。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時	10月23日（金）13：30～15：00
場所	瀬戸交流館
講師	福山市消防団女性分団員
定員	20人
持って来るもの	飲み物
申し込み先	瀬戸交流館　☎ 951―1003



福山市版エンディングノート「わたしのこれからノート」配布場所のお知らせ

無料で配布しています。

ご希望の方は、次の配布場所でお受け取りください。

【配布場所】福山市社会福祉議会　各事務所

福山市　高齢者支援課及び各支所保健福祉課

地域包括支援センター

【お問い合わせ先】福山市社会福祉協議会　総務課

電話：084―928―1330



《講座中止のお知らせ》9月4日に開催を予定しておりました「スマホゲーム体験会」は都合により中止となりました。参加を予定されていた皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。